



アート&ミュージックフェスティバルに向けて

校長 水野 裕司

10月13日から3日間 6年生が八ヶ岳移動教室に行ってきました。初日は、朝から雨模様のため、体育館で出発式を行いました。体育館の壁には、「行ってらっしゃい。」の文字が、貼り出されていました。3年生が、見送りのために自主的に書いてくれたものです。また、6年生のリュックにはてるてる坊主が、付いていました。5年生が6年生全員に一つずつ作ってくれました。「他の学年のみんなも応援してくれています。全校のみんなと〜共に 励もう〜の気持ちで、移動教室に行ってきましょう。」と、瓜生小の子供たちの温かい心を感じながら6年生に話をすることができました。てるてる坊主の効果でしょうか。入笠山の麓に着くころには雨が上がり、ゴンドラで上に行くと、八ヶ岳の峰々が雲海に浮かぶ姿が見られました。大自然を満喫し、友達との友情を深める有意義な3日間を過ごすことができました。

今月は、アート&ミュージックフェスティバルを開催します。今年は、学芸会の年でしたが、夏休みの前の感染状況に鑑み、ミニ絵画展に切り替えて準備を進めました。合奏は、糠喜びさせないため、子供たちには保護者に披露するかもしれないということを伝えず、通常の授業の中で練習を進めました。9月末に音楽も披露できると判断したところで、ミニ絵画展とミニ音楽会を行うことを発表しました。行事の名称は、児童委員会に急遽考えてもらい、「アート&ミュージックフェスティバル」が生まれました。教員も子供たちも先の見えない中、手探りで前に進みながら作っている行事です。当日は、児童が保護者に自分の作品を紹介する時間も設定します。演奏が終了しましたら、進行の担当が声をかけますので、そのままお待ちください。どんな紹介が聞けるのか楽しみにしてください。最後の一週間、瓜生小の全員が、仕上げに一生懸命取り組みます。保護者の皆様の温かい応援をよろしくお願いいたします。

10月25日に多摩市の感染レベルが「レベル2」から「レベル1」に引き下げられました。つきましては、学校の教育活動を以下のように進めていきます。様々な活動が実施できるようになりますが、身体的距離をとる、丁寧な手洗いや消毒、マスクの着用などの基本的な感染症対策は引き続き行います。

1 朝の健康観察

ご家庭での検温・健康観察と健康観察表への記入を引き続きお願いします。ピロティでの健康観察表の確認は、継続します。登校後の検温は、行いません。

※ご家族に発熱・咳などの体調不良やPCR検査を受けた方がいらっしゃる場合にも、学校に連絡し、登校を控えるようにしてください。

2 校内での三密回避への取組み

① 給食時の2教室に分けての指導と黙食を継続します。

② 感染リスクの高い学習活動につきましては、十分な感染症対策をして、指導を行います。

例) ・家庭科での調理実習 ・音楽での合唱やリコーダー・鍵盤ハーモニカ等を用いる活動

3 ICTを活用した学習活動・・・継続して指導していきます。

4 今後の学校行事について・・・原則、予定通り実施します。

・生活科見学・・・多摩動物公園の団体受付再開を待っている状態ですが、今後、寒さが厳しくなることなどを考慮し、判断していきます。

・学校公開等・・・1学級に入る人数が、多くならないよう、分散しながら行います。

感染の再拡大を防ぐことが、子供たちの学習や行事などの活動を進めることにつながります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。